



安全データシート

Copyright, 2026, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	25-7016-6	版	7.00
発行日	2026/09/02	前発行日	2024/01/16

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M™ 水性コーティング ミディアム 8806

3M スtockナンバー

JS-4000-0047-2

7010720039

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

自動車

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類

発がん性： 区分 2

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分 2

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分 1

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H351 発がんのおそれの疑い

H371 臓器の障害のおそれ：
 心血管系。
 神経系
 腎臓。
 呼吸器

H372 長期あるいは反復ばく露による臓器の障害：
 呼吸器

注意書き

安全対策

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
 P202 安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
 P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 P280E 保護手袋を着用すること。
 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P264 取扱後はよく洗うこと。

応急措置

P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡する事。
 P314 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

保管

P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	15 - 40
ドロマイト	16389-88-1	10 - 30

SBRラテックス	営業秘密	10 - 30
タルク	14807-96-6	5 - 15
アクリルスチレン樹脂	営業秘密	1 - 10
炭酸カルシウム	471-34-1	1 - 10
安息香酸ナトリウム	532-32-1	1.9
エチレングリコール	107-21-1	1.6
酸化チタン(IV)	13463-67-7	0.70

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

石鹸と水で洗浄する。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

ばく露がある場合、直ちに多量の水で眼を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状や徴候が現れたら、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。 長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

本製品にはエチレングリコールが含まれている。エチレングリコールによる毒性症状が発現したと考えられる場合は、医療処置として、ホメピゾールまたは、エタノール（ホメピゾールを推奨するが、ホメピゾールが入手できない場合はエタノール）を静脈注射する。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素
刺激性蒸気あるいはガス

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中

毒性蒸気、微粒子

燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

区域から退避させること。新鮮な空気でその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。子供の手の届かないところに置くこと。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。指定された個人保護具を使用する。

保管

特別な貯蔵条件はない。

8. ばく露防止及び保護措置**管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
エチレングリコール	107-21-1	ACGIH	TWA(蒸気部分):25 ppm;STEL(蒸気部分):50 ppm;STEL(吸入性エアロゾル):10 mg/m3	A4: ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
エチレングリコール	107-21-1	ISHL(濃度基準値)	TWA(8時間):10 ppm;STEL(15分間):50 ppm	25℃1気圧空气中
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m3;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m3	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(チタンとして、総粉じんとして)(8時間):2 mg/m3;TWA(チタンとして、吸引性粉じんとして)(8時間):1.5 mg/m3;TWA(8時間):0.3 mg/m3;TWA(提案)(8時間):0.3 mg/m3	2B: ヒトに対しておそらく発がん性がある(証拠が比較的不十分)
遊離シリカ含有率 3%未満の粉塵、吸入性粉塵	14807-96-6	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
タルク	14807-96-6	ACGIH	TWA(吸入性分画):2 mg/m3	A4: ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
タルク(石綿繊維含有)	14807-96-6	JSOH OELs	限界値は未設定	1: ヒトに対して発がん性がある。
遊離シリカ含有率 3%未満の粉塵、吸入性粉塵	16389-88-1	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
無機粉塵および有機粉塵、第1種及び第2種以外、吸入性粉塵	16389-88-1	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)(8時間):8 mg/m3;TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):2 mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの、吸入粒子	16389-88-1	ACGIH	TWA(吸入粒子):10 mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの、吸入性粒子	16389-88-1	ACGIH	TWA(吸入性粒子):3 mg/m3	
遊離シリカ含有率 3%未満の粉塵、吸入性粉塵	471-34-1	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
無機粉塵および有機粉塵、第1種及び第2種以外、吸入性粉塵	471-34-1	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)(8時間):8 mg/m3;TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):2 mg/m3	
遊離シリカ含有率 3%未満の鉱物性粉塵、吸入性粉塵	471-34-1	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	

不溶性又は難溶性粒子状物質 で他に特段の指定がないもの、 吸入粒子	471-34-1	ACGIH	TWA（吸入粒子）：10 mg/m ³	
不溶性又は難溶性粒子状物質 で他に特段の指定がないもの、 吸入性粒子	471-34-1	ACGIH	TWA（吸入性粒子）：3 mg/m ³	
安息香酸ナトリウム	532-32-1	ACGIH	TWA（吸入可能な粒子状物 質、安息香酸塩とし て）：2.5mg/m ³	A5：ヒトに対する発がん 性物質として疑いの ない物質、皮膚吸収の 危険性

ACGIH：American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA：American Industrial Hygiene Association

ISHL：労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL（濃度基準値）：労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs：日本産業衛生学会許容濃度

TWA：時間加重平均値

STEL：短時間ばく露限界値

ppm：百万分率

mg/m³：ミリグラム/立方メートル

CEIL：天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

長時間、あるいは繰り返し接触する場合、以下のような材質の手袋が推奨される（破過時間：4時間を超える）：ブチルゴム、フルオロエラストマー、ネオプレン、ニトリルゴム、樹脂ラミネート。、ポリ塩化ビニル

長時間／繰り返し接触用途推奨手袋は短時間接触／飛沫接触用途にも適している。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

使い捨て式防じんマスクまたは取替え式防じんマスク

半面形もしくは全面形面体の送気マスク（エアラインマスク）

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	灰色
臭い	アミン
臭いの閾値	データはない。
pH	8 - 9
融点・凝固点	適用しない
沸点, 初留点及び沸騰範囲	100 °C
引火点	データはない。
蒸発速度	データはない。
引火性	適用しない
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
相対蒸気密度	データはない。
密度	1.2 g/cm ³
比重	1.2 [参照基準: 水=1]
溶解度	無視できるレベル。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
動粘性率	12,605 mm ² /sec
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	37 重量%
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	適用しない
------	-------

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

**危険有害な分解物
物質****条件**

知見はない。

セクション 5 の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。 また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報**ばく露による症状**

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報**特定標的臓器毒性、単回ばく露**

心臓への影響： 不整脈、脈拍数の変動、心筋障害、心不全などが発現し、死に至ることがある。 神経への影響： 性格の変化、協調障害、感覚喪失、四肢の刺痛又はしびれ、虚弱、ふるえ、血圧変化及び心拍数変化などの症状。 吸入作用： 症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。 頻脈、皮膚蒼白（チアノーゼ）、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。 腎臓・膀胱への影響： 尿量の変化、下腹部又は腰の痛み、尿中蛋白の増加、血中尿素窒素の増加、血尿、排尿痛などの症状。

長時間又は反復暴露した場合：

吸入による長期ないし反復ばく露の恐れがある

塵肺症： 持続性のせき、無呼吸、胸痛、喀痰増加、肺機能検査結果の変化などの症状。

発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。12.5 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
ドロマイト	皮膚		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
ドロマイト	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
タルク	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
タルク	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
炭酸カルシウム	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
炭酸カルシウム	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 3 mg/l
炭酸カルシウム	経口摂取	ラット	LD50 6,450 mg/kg
安息香酸ナトリウム	経口摂取	ラット	LD50 2,100 mg/kg
安息香酸ナトリウム	皮膚	類似化合物	LD50 > 2,000 mg/kg
安息香酸ナトリウム	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	類似化合物	LC50 > 12.2 mg/l
エチレングリコール	経口摂取	ヒト	LD50 1,600 mg/kg
エチレングリコール	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	その他	LC50 推定値 5 - 12.5 mg/l
エチレングリコール	皮膚	ウサギ	9,530 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ドロマイト	専門家による判断	刺激性なし
タルク	ウサギ	刺激性なし
炭酸カルシウム	ウサギ	刺激性なし
安息香酸ナトリウム	ウサギ	刺激性なし

エチレングリコール	ウサギ	ごく僅かな刺激臭
酸化チタン (IV)	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ドロマイト	専門家による判断	刺激性なし
タルク	ウサギ	刺激性なし
炭酸カルシウム	ウサギ	刺激性なし
安息香酸ナトリウム	ウサギ	激しい刺激
エチレングリコール	ウサギ	軽度の刺激
酸化チタン (IV)	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
安息香酸ナトリウム	類似化合物	区分に該当しない。
エチレングリコール	ヒト	区分に該当しない。
酸化チタン (IV)	ヒト及び動物	区分に該当しない。

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
タルク	ヒト	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
タルク	In vitro	変異原性なし
タルク	In vivo	変異原性なし
安息香酸ナトリウム	In vivo	変異原性なし
安息香酸ナトリウム	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
エチレングリコール	In vitro	変異原性なし
エチレングリコール	In vivo	変異原性なし
酸化チタン (IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン (IV)	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
タルク	皮膚	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。
タルク	吸入した場合	ラット	発がん性
安息香酸ナトリウム	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
エチレングリコール	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン (IV)	経口摂取	多種類	発がん性なし

		の動物 種	
酸化チタン (IV)	吸入した 場合	ラット	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
タルク	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1, 600 mg/kg	器官発生期
炭酸カルシウム	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
安息香酸ナトリウム	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1, 306 mg/kg/日	妊娠期間中
エチレングリコール	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 3, 549 mg/kg/日	器官発生期
エチレングリコール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	LOAEL 750 mg/kg/日	器官発生期
エチレングリコール	吸入した 場合	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1, 000 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
炭酸カルシウム	吸入した 場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0. 812 mg/l	90 分
安息香酸ナトリウム	吸入した 場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手 できない	
エチレングリコール	経口摂取	心臓 神経系 腎臓および膀胱 呼吸器系	臓器への影響	ヒト	NOAEL 入手 できない	中毒ないし 乱用時
エチレングリコール	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手 できない	中毒ないし 乱用時
エチレングリコール	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手 できない	中毒ないし 乱用時

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
タルク	吸入した 場合	塵肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手 できない	職業性被ばく
タルク	吸入した 場合	肺線維症	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 18 mg/m3	113 週
タルク	吸入した 場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 18 mg/m3	113 週
炭酸カルシウム	吸入した 場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手 できない	職業性被ばく
安息香酸ナトリウム	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 905 mg/kg/日	10 日
安息香酸ナトリウム	経口摂取	免疫系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 905 mg/kg/日	10 日
安息香酸ナトリウム	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 905 mg/kg/日	10 日
エチレングリコール	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/日	2 年

エチレングリコール	経口摂取	脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/日	2 年
エチレングリコール	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	2 年
エチレングリコール	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	2 年
エチレングリコール	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	2 年
エチレングリコール	経口摂取	免疫系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	2 年
エチレングリコール	経口摂取	筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	2 年
エチレングリコール	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 12,000 mg/kg/日	2 年
エチレングリコール	経口摂取	皮膚	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1,000 mg/kg/日	2 年
エチレングリコール	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1,000 mg/kg/日	2 年
エチレングリコール	経口摂取	骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1,000 mg/kg/日	2 年
エチレングリコール	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1,000 mg/kg/日	2 年
エチレングリコール	経口摂取	眼	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1,000 mg/kg/日	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本 SDS の 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS 分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ドロマイト	16389-88-1	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
ドロマイト	16389-88-1	ニジマス	類似コンパウンド	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
ドロマイト	16389-88-1	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	LC50	190 mg/l
ドロマイト	16389-88-1	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
タルク	14807-96-6	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
炭酸カルシウム	471-34-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
炭酸カルシウム	471-34-1	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
炭酸カルシウム	471-34-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
炭酸カルシウム	471-34-1	緑藻類	実験	72 時間	EC10	100 mg/l
エチレングリコール	107-21-1	バクテリア	実験	16 時間	EC50	10,000 mg/l
エチレングリコール	107-21-1	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	8,050 mg/l
エチレングリコール	107-21-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>1,000 mg/l
エチレングリコール	107-21-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>1,100 mg/l
エチレングリコール	107-21-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	1,000 mg/l
エチレングリコール	107-21-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
安息香酸ナトリウム	532-32-1	液状化	類似コンパウンド	3 時間	EC50	>1,000 mg/l

安息香酸ナトリウム	532-32-1	ファットヘッド ドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	484 mg/l
安息香酸ナトリウム	532-32-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
安息香酸ナトリウム	532-32-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	5.81 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ファットヘッド ドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ドロマイト	16389-88-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
タルク	14807-96-6	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
炭酸カルシウム	471-34-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エチレングリコール	107-21-1	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素 要求量	90 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
安息香酸ナトリウム	532-32-1	実験 生分解性	7 日	二酸化炭素の 発生	90 CO2発生量 /理論CO2発生 量%	OECD 301B - 修正シ ュツルム試験又は二 酸化炭素
酸化チタン (IV)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ドロマイト	16389-88-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
タルク	14807-96-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
炭酸カルシウム	471-34-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

ム		タが利用できない、あるいは不足している。				
エチレングリコール	107-21-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-1.36	
安息香酸ナトリウム	532-32-1	類似コンパウンド 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.88	
酸化チタン (IV)	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
エチレングリコール	エチレングリコール	該当	該当	該当

安息香酸ナトリウム	安息香酸ナトリウム	適用しない	適用しない	該当
酸化チタン(IV)	酸化チタン(IV)	該当	該当	該当

16. その他の情報

改訂情報

セクション 15：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」 情報の追加。
 セクション 15：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報の追加。
 セクション 2：GHS分類 情報修正。
 セクション 2：有害性ステートメント - 区分 2 特定標的臓器毒性、単回暴露 情報修正。
 セクション 2：健康有害性 情報の追加。
 セクション 2：絵表示 情報修正。
 セクション 2：注意書き - 安全対策 情報修正。
 セクション 2：注意書き - 応急措置 情報修正。
 セクション 3：成分表 情報修正。
 セクション 4：応急措置 - 医療機関への報告 (REACH/GHS) 情報修正。
 セクション 4：応急措置(眼に入った場合)の情報 情報修正。
 セクション 5：燃焼時有害性の表 情報修正。
 セクション 6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正。
 セクション 8：眼の保護具 情報の追加。
 セクション 8：眼および顔面保護 情報の削除。
 セクション 8：作業環境許容値 情報修正。
 セクション 8：保護具 - 眼 情報の削除。
 セクション 8：保護具 - 皮膚/手 情報修正。
 セクション 8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正。
 セクション 9：燃焼性 (固体、ガス)情報 情報の削除。
 セクション 9：引火性情報 情報の追加。
 セクション 9：動粘性率情報 情報の追加。
 セクション 9：粒子特性 適用しない 情報の追加。
 セクション 9：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正。
 セクション 9：粘度 情報の削除。
 セクション 11：発がん性の表 情報修正。
 セクション 11：健康影響情報 (眼) 情報修正。
 セクション 11：長時間又は反復暴露した場合の標準フレーズ 情報修正。
 セクション 11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正。
 セクション 11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正。
 セクション 11：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正。
 セクション 12：成分生態毒性情報 情報修正。
 セクション 12：残留性および分解性の情報 情報修正。
 セクション 12：生態濃縮性情報 情報修正。
 セクション 15：労働安全衛生法の表 情報修正。
 セクション 8：長時間接触用保護手袋に関する記述 情報の追加。
 セクション 8：長時間接触用保護手袋の種類 情報の追加。
 セクション 8：短時間の使用に適した長時間接触用保護手袋 (手袋着用時) 情報の追加。

免責事項：この安全データシート (SDS) の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。
 (法令で要求される場合を除く) 本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合

わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。